

伊藤 ゆきひろの ちょこっとタイム



後援会便り <No.82号> 2017年 12月1日 発行

ごあいさつ

様々な売り場の一隅で年賀葉書が売られ
年の暮れと新年が近いことを感じます。

先月角界に激震が走り、国技の品格に
対する議論が高まりました。スポーツ
マンシップのみでなく、原点或いは初心
に立ち返ってみることは、万事に通じる
ことでもあります。絶え間ない心身の鍛練



刈谷市議会議員

が歴史を昇華し、それは新しい技術開発へと
繋がり、来る2020年東京五輪の聖火にはトヨタ
が挑む 史上初めての水素の炎が期待されます。

さて、新年に向け政府は「来年度税制改正大綱
(案)」によって、新たな税負担が示されようとして
います。私共の生活に直結する税金が、“公平・公
正・納得”のいくものとなるかを見極めるため、今
後も国会の与野党論戦に注目して参りましょう。

一方、刈谷市議会では12月6日より定例議会を
開会、当市はこれまでの取組みが評価され、この
度 総務大臣表彰を受賞しました。持続可能な安心
で快適なまちづくりに微力乍ら尽力する所存です。

歳末に向け、寒波の襲来が予想されます。お身体
くれぐれもご自愛頂き、良いお年をお迎え下さい。



【後援会事務所】

刈谷市一里山町金山100番地
(トヨタ車体労働組合内)

Tel 0566-36-3870

Fax 0566-36-6272

E-mail itou@bwcom.or.jp

HPアドレス <http://y110.jimdo.com>

伊藤ゆきひろの ちょこっと情報 !!



刈谷 良いトコ ♪



深まった秋の彩りが、有終の美を飾ろうと
するかのようにつも見慣れた街角を足早に
染め上げて行きます。まるで西欧の絵ような…
さて、ここはどこでしょう？



11/1発行の<No.81>の答えは東境町焼田
の岩ヶ池にある浮島を、一点彩る鳥居でした。
近くに刈谷ハイウェイオアシスの観覧車を
臨み乍ら その一隅神聖な時空が横たわります。

“カストラート・魅惑の歌声”への招待☆

年末から年始にかけては、第九やクリスマスコンサート、ラデッキー行進曲等
クラシックに触れる機会も多くなります。美しいボーイソプラノで歌われるア
ヴェ・マリアはひとの心を揺さぶり、天使が舞い降りたような錯覚に捉われます。

17~18世紀、ヨーロッパでは変声前の男児を去勢して人為的に変声をなくし
少年期の高音を保ったまま大人となる歌手、“カストラート”が絶大な人気を誇っ
ていました。ボーイソプラノの清らかさと成人男性の肺活量を併せ持った歌声は
驚愕的であり、当時上流の貴婦人をしばしば失神させたとも伝えられています。

その後人道的理由により少年の去勢が禁止され、カストラートは衰退・消滅し
て行きましたが、現代稀に去勢することなくソプラノ音域を歌うことのできる男
性歌手が存在、通常のカウンターテナーと区別され“ソプラニスタ”と呼ばれます。

変声期を迎えても裏声で非常に高い音域を具えるため、ソプラニスタとなっ
た者もいれば、何らかの理由で変声期を経ずほぼ少年期の声のまま成人した者も。

男性でありながら、女性の最高音域を歌うことのできるソプラニスタ、その神
秘と魅惑に満ちたカストラートの歌声を、いつかの機会にぜひご堪能下さい。

12月の行事予定

- 12月 1日(金)・5日(火) トヨタ車体労組 暮らしの相談日
- 5日(火) 刈谷知立環境組合議会
- 6日(水) ~22日(金) 12月定例議会
- 13日(日) 連合愛知政策推進議員懇談会
- 17日(日) 下り松川清掃活動
- 22日(金) 代表者のつどい
- 25日(月) ユタカ議員協議会研修会

“まじめに
コツコツ、即行動”
頑張ります!!



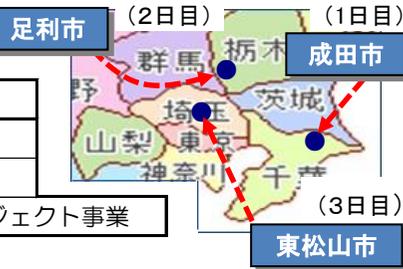
歳時記

- | | |
|----------------|--------------------|
| 12月 1日(金) 映画の日 | 懸命に頑張った一年も早歳終わりを |
| 7日(木) 大雪 | 迎え、人々は総仕上げを急ぐように残 |
| 22日(金) 冬至 | した雑務を片付けるべく駆け回ります。 |
| 23日(土・祝) 天皇誕生日 | 月初は映画の日、格安料金で観られ |
| 25日(月) クリスマス | るその機会に煩雑な日常を忘れ、心を |
| 31日(日) 大晦日・大祓い | リフレッシュしてみたいかが？ |

11月のフットワーク

市民クラブ会派の行政視察報告

日程	視察先	視察テーマ
11月 8日	千葉県成田市	表参道整備事業
11月 9日	栃木県足利市	企業誘致事業
11月10日	埼玉県東松山市	エコタウンプロジェクト事業



【視察参加者】市民クラブ会派議員（6名）

鈴木 浩二 山内 智彦 黒川 智明 中嶋 祥元 佐原 充恭 伊藤 幸弘

成田市の『表参道整備事業』について

成田市は、JR成田駅から新勝寺までの約900mの間を歴史を思わせるまち並みの再整備を平成8年度から取組み、平成30年度に終えようとしている。再整備では、地域との連携を重視し、建物のセットバックや参道に相応しい建物条件・無電柱化など、訪れてみたい歴史を感じるまち並みづくりによって、賑わいを取り戻していた。

【刈谷市が参考にすべき課題】

- ・建物のセットバック・景観条件等、再整備にはインセンティブを課した推進が必要。
- ・歩いてみたくなるまち並みづくりには、歩行空間と景観の統一化・無電柱化は必須。

【所感】

刈谷市は、市駅から亀城公園までのまち並みの再整備を計画しようとしているが、実現に向けては地域との協働を重視し、住民に分かり易い情報発信が必要と感じた。

足利市の『企業誘致事業』について

足利市は、平成15年頃から産業団地の開発と企業誘致の活動を積極的に行っており、立地企業には様々な優遇制度の導入やサービスによって成果を上げていた。

【刈谷市が参考にすべき課題】

- ・企業立地促進助成・建物建設助成など様々な立地に向けた優位性のある制度検討。
- ・中小企業の人材確保に向けた雇用促進への支援強化が必要。

【所感】刈谷市も現在、3地区で企業立地の用地確保を行っているが、タイミングとスピード感、優遇制度の充実が重要。更に、人材確保も大切。教育機関との連携・情報提供も企業誘致の一環として捉えた仕組みづくりが必要と感じた。

東松山市の『エコタウンプロジェクト事業』について

東松山市は、東日本大震災福島原発事故による電力供給不足の経験を踏まえ、エネルギーの地産地消のまちづくりとして、自然エネルギーの自給率を向上と創エネ・省エネによる賑わいづくりの取組みを行ない成果を上げていた。

【刈谷市が参考にすべき課題】

- ・民間主体のメガソーラー事業化支援を検討し、地産地消の電力確保を検討をすべき。
- ・小中学校教育の中にも、自然エネルギーの重要性などの意識醸成する指導が必要。

【所感】大規模災害時に備えた自然エネルギーによる電力自給率の向上は重要。行政は勿論のこと、事業所への要請や市民への促し、助成制度の充実など、積極的な推進によって持続可能なまちづくりを進めて行く必要があると感じた。

ユタカ議員協議会の研修会報告

【日 時】11月3日（金）10:00～12:00

【場 所】キャッスルプラザ名古屋

【テーマ】愛知県における自動運転実証に向けた取組み

【講 師】愛知県産業労働部産業振興課 柴山 主幹氏



【日本での自動運転普及に向けたスケジュール】

政府は、刈ビック・パ刈ビック開催の2020年までに自動運転の市場化・サービス化の実現を目指す目標を示し、2017年度中に「自動運転制度整備大綱」の策定を予定。

年度	2017	2018	2019	2020	2020以降
① 限定地区無人自動運転移動サービス（レベル4）	無人自動運転機能の類似別検証 実証実験・F/S・サービス開発	民間での事業化への準備		サービスの実現	サービスの拡充
② 高速道自動運転（レベル3以上）		【民間・関係各省】制度面等の調査・検討 高速道等における大規模実証（SIP）		民間での事業化（研究開発・実用化）推進	市場化

愛知県は、平成27年8月に国家戦略特区指定を受け、他県に先駆け15市町村で自動運転の実証実験を繰返し、知見の蓄積及び技術の底上げを行なっている。（刈谷市で今年10/3、車内運転席無人の遠隔型実証実験を国内で初めて実施）
〈今後の課題〉

- ・法的責任、自動運転に関する法規制など多くの新しい社会制度設計の必要性。
- ・地域の新しい公共交通ネットワークの創出や新たなビジネス創出の展開。
- ・通行レーン整備や情報環境の高度化などITSによる新しいインフラ整備の充実。

【所感】愛知県は、自動運転システムの社会実装をリードし、新事業・新ビジネスモデルの創出による新しい産業構造の構築を図ろうとしている。

刈谷市も県と連携し、新たな都市交通体系と産業構造への変革に対応していく準備を急ぎ、安全で快適なまちづくりに備えていかなければならない。

ちよこっと情報

『地方自治法施行70周年記念』
刈谷市が総務大臣表彰受賞!!



【受賞日時】平成29年11月20日 【場 所】東京国際フォーラム

【受賞者】全国で261人・245団体（うち124市町村）が受賞
県内では7人・6団体（うち2市町村：刈谷市と蟹江町）

【全国市町村数は】
現在、1,718



【刈谷市の受賞理由】

- ・刈谷駅周辺の再開発
- ・刈谷ハイウェイオアシス整備
- ・刈谷城復元および歴史博物館整備
- ・家庭における携帯電話使用ルール作りの取組み
- ・特別支援学校整備による障害の有無に関わらない子どもの交流